

# Q&A

## 胆嚢結石症の経過観察中に出現した嘔吐症

### 【問 題】

症例：72歳，女性。

主訴：嘔吐。

現病歴：以前より胆嚢結石症の指摘を受けていたが，自覚症状なく経過観察となっていた（Figure 1）。201X年10月，右上腹部痛を自覚し近医を受診。鎮痛剤の内服で経過観察となっていたが，その後嘔吐もともなうようになり，精査加

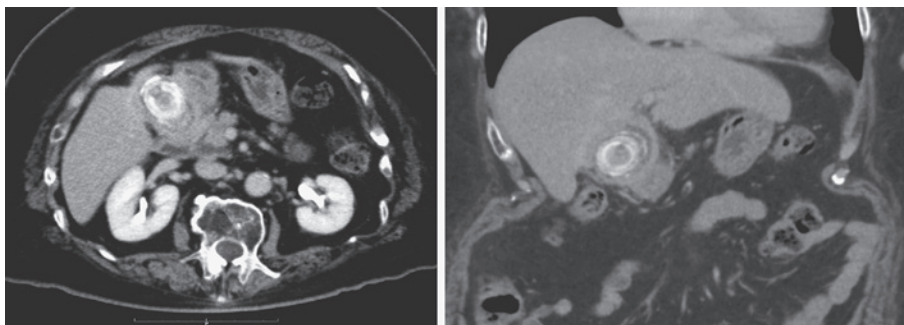


Figure 1. 発症2カ月前のCTスキャン：胆嚢内に結石あり，胆嚢壁肥厚あり，慢性胆嚢炎の診断であった。

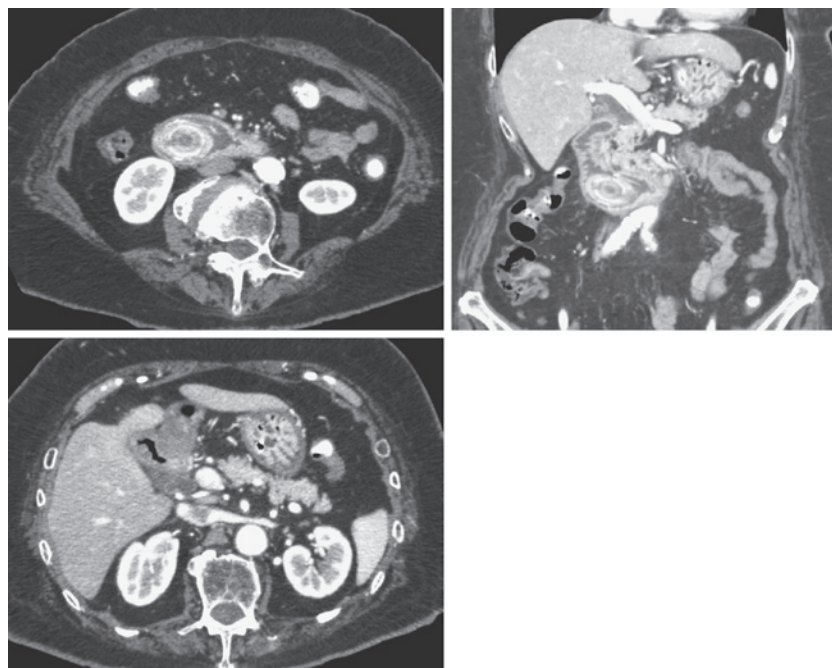


Figure 2. 嘔吐出現時のCTスキャン：十二指腸に結石と思われる high density な構造物を認める。胆嚢内に air density あり。

2020年5月

療目的に当科へ紹介となった。

**身体所見**：バイタルサインに異常なし。右季肋部、右背部に疼痛あり。腹膜刺激症状なし。

**血液検査所見**：WBC：6100/ $\mu$ l, RBC：324万/ $\mu$ l, Hb：11.1g/dl, Plt：22.9万/ $\mu$ l, CRP：0.58mg/

dL, T-Bil：0.6mg/dl, AST：23U/L, ALT：27U/L, ALP：193U/L,  $\gamma$ GTP：24U/L.

画像所見 (Figure 1, 2).

**診断は何か？**